Topics 総務省 フューチャースクール推進事業を継続

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/38993.html

総務省は昨年12月、「平成23年度の総務 省所管予算(案)の概要」を公開。昨年11月 に政府の事業仕分けで廃止判定を受け、継続 が危ぶまれていたフューチャースクール推進 事業についても、約10億6千万円の予算が 盛り込まれました。

フューチャースクールは、ICT を使った「協 働教育」を実践するため、総務省が全国展開 を計画的に推進していた事業。デジタル教科書・教材の活用、全児童1人1台のタブレットPC提供など、ICT環境の構築や利活用を押し進める上で期待されていました。今後は、継続分については文部科学省との連携を確保して事業内容を絞り込み、特別枠要望分については校種、校数の絞り込みを行った上で継続される見通しです。

項目名	事業名	23 年度 要求額	評価結果	23 年度 予定額	評価結果の反映状況	
フューチャー スクール 推進事業	【継続分】	700	国の事業として	540	文科省事業と十分連携することとした上で、実証項目を連携上不可欠な内容に絞り込むといった事業の見直しを行い、要求から4分の1程度の縮減。	
	【特別枠要望分】	2,168	見直しを要する	525	文科省との密接な連携を確保した上で、校種、校数の相当の絞り込みを 行い、徹底したコストを見直し。	

(単位:百万円)

Topics デジタル教科書教材協議会 アクションプランを発表

http://ditt.jp/news/1213

デジタル教科書教材協議会(以下DiTT)は、学校教育におけるデジタル教科書教材の普及に向けた計画を示す「DiTTアクションプラン」を公開しました。

2020年度までにデジタル教科書を普及達成 させるとする政府目標に対し、DiTTはそれ を5年前倒しした「2015年度までの普及」を 民間による目標に定めています。具体的には、

2015年度までのデジタル化目標として、小・中学校の全教科のデジタル教材の開発(全授業の3割程度の利用)、教室内無線LAN整備率100%、すべての小・中学生に対しての情報端末配布などを挙げています。DiTTは、このアクションプランを踏まえた活動指針「DiTTビジョン」を年度内に策定する予定です。

アクションブランの概

- ・2015年度までの3つの目標
- ①全小中学生に情報端末を配布 ②全教科のデジタル教材を開発 ③全授業のうち約3割で利用
- ・デジタル教育を通じて目指す将来の国家目標

「創造力」「コミュニケーション力」「学力」の3指標で世界一位を目指す

- ・デジタル教科書教材が対象とする市場規模は約4兆円
- ・2010年度内に第一次、2011年度に第二次標準ガイドラインを策定する
- ·2010年度内に「DiTTビジョン」を策定する
- ・2011年度から新しいデジタル教材、アプリケーション、学習環境を開発する
- ·2011年度から国と連携して学校や課外 WSでの実証実験を行う
- ・これらを踏まえ、制度、予算、標準ガイドラインなどの政策への反映を図る